

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)		-	-
		スーパー（企画担当）	・ECサイトでの新たな取組による売上が見込める。
		コンビニ（経営者）	・夕方からの来客数が増えているので売上が期待できる。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・当社、同業他社も含め前年に比べ予約状況が好調である。
		住宅販売会社（営業担当）	・鉄筋コンクリート造のマイホーム建築計画が約14か月掛かることから、消費税の引上げ前の駆け込み需要が、住宅展示場の来場客数増加に表れ出している。
		百貨店（店舗企画）	・前年に比べ今年の旧盆は10日ほど前倒しとなるため、7月はギフト需要が前年よりも高く見込まれるが、8月にやや失速するとみている。
		スーパー（販売企画）	・前年の6月と8月に商圈内に競合店が新規出店して厳しい状況が続いているが、6月以降は一巡するため前年比はやや回復するかとみている。しかし、今年も6月にまた競合店の新規出店があり厳しい状況は更に続く予想される。
		コンビニ（代表者）	・安定した観光客の動きに支えられ、順調に推移していくと判断する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月は、月の頭は連休により良い動きであったが、連休後は例年のごとく鈍い状態である。また、来月のセール待ちの状態のような雰囲気である。景気はまだまだ良くなる感じがしない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・例年から大きく変わる要因は特に見当たらない。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測できる今後2～3か月後の客室稼働率は、今月同様に前年同月実績を下回る見込みである。
		住宅販売会社（代表取締役）	・他社設計事務所から建築見積依頼があったが、受注した際の建築現場の下請会社や職人確保が不安視され、自社設計案件を優先すべきと断った。建築受注は順調であるが、下請会社や職人確保に見合った件数しか現場が対応できないのが現実である。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・観光客の増加により関連事業は良いが、極度の求人難で、労働集約型の飲食業は人件費の上昇を売上でカバーしきれない状態が続いている。
	観光型ホテル（代表取締役）	・はしかについてはもうすぐ落ち着くと予想されるが、予約の状況が動いていない。	
	×	商店街（代表者）	・寄り集まりの商店街では、特に物販業の閉店が多く、店が閉まった後に入ってくるのは、立ち飲み屋等の飲み屋関係が多い。ここ数年で70～80軒は増えたかとみている。今後も入ってくるのはほとんど飲食関係であり、増えれば増えるほど客の奪い合いを起こすと予想している。物販業はこのままでは更に危機感を抱くことになるとみている。
企業動向 関連 (沖縄)		輸送業（経営企画室）	・継続的な地価の上昇や、新規業態の進出が挙げられる。顧客の関連企業の新規進出があり、そこでの消費増加が見込まれること、また既存業態による新規進出対策の施策などによる消費者の消費機会増が見込まれることから、好景気につながるかとみている。
		食料品製造業（総務）	・沖縄県全体の景気が観光産業を中心に建設業等も活況であり、消費活動にも良い影響を与えているとみられる。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・ホテル増設工事が続く見通しである。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の観光ホテルや量販店の民間工事が多く、特に宮古島は陸上自衛隊関連施設の建設工事も本格化しつつあり、生コンの出荷が増大している。アスファルトの出荷量も上向いてきている。
		広告代理店（営業担当）	・県内景気は、観光や建設業がけん引し好調に推移しているが、深刻な人材不足や先行きの景気に対する不安感を抱く企業もあることから、県内企業の販促投資は大きく変わらないものと推察している。
		会計事務所（所長）	・不動産バブル崩壊への警戒感で、取引に慎重な傾向がうかがえる。
		×	建設業（経営者）
雇用 関連 (沖縄)		-	-
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・前月と比べても、正社員の求人数と求職者数が共に増加している。
		人材派遣会社（総務担当）	・求人数は引き続き多いが、求職者はさほど増えず人手不足感がある。現在景気は良いが人手不足から企業の一層の業況拡大までには至らず、景気の状態は変わらないとみられる。

	学校 [ 専門学校 ] ( 就職担当 )	・人材不足の影響が、景気を左右するのかどうかは不明だが、不安材料になっていることは確かだとみている。
	学校 [ 大学 ] ( 就職担当 )	・大卒求人に対しては企業側の積極採用が続いており景気の良さを感じるが、この時期に集中するという予想もあり、今後の景気が上昇するとまでは見込まれない。
	求人情報誌製作会社 ( 編集室 )	・7月前半は夏休みの繁忙を控え、人材確保の必要もあり件数は若干増加するも、7月後半から8月にかけては若干減少するとみられる。
x	-	-